



## 評定書（工法等）

申込者 コーリョー建販株式会社 代表取締役 大田 真司 様  
東京都文京区本駒込 1-4-3

件 名 住宅基礎用ダイヤレン

平成 30 年 4 月 20 日付けで評定の申し込みのあった本件については、下記のとおり評定申込事項に係る技術的基準に照らし妥当なものと評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成 35 年 6 月 12 日までとします。

平成 30 年 6 月 13 日



記

### 1. 評定申込事項

本件は、3 階建て以下の木質系（在来軸組構法・桝組壁工法）及び鉄鋼系（軽量鉄骨構造）住宅の布基礎及びべた基礎において、シングル配筋された基礎梁部分の開孔補強工法に関する評定である。なお、上部構造等は評定対象外とし、別途適切に構造耐力上安全であることを確認することとしている。

### 2. 区分

新規

### 3. 評定をした工法等の内容

別紙 1 のとおり

### 4. 評定の内容

#### （1）方法

本評定は、コンクリート系住宅構造評定委員会（委員長：松崎育弘）において、申込者から提出された資料に基づき審査を行ったものである。

#### （2）内容

提出された検討等の内容について、妥当であることを確認した。

### 5. 備考

本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われていることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。

一般財団法人日本建築センター

BCJ 評定-LC0150-01

## 住宅基礎用ダイヤレン仕様規定

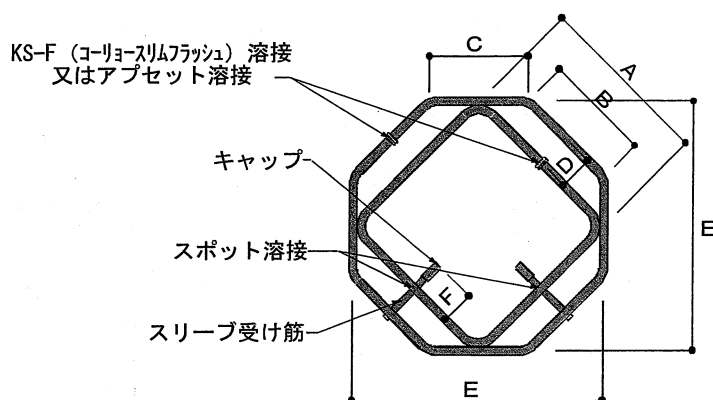
コーリョー建販株式会社



## 1. 住宅基礎用ダイヤレンの概要

住宅基礎用ダイヤレンは、3階建て以下の木質系（在来軸組構法・枠組壁工法）及び鉄鋼系（軽量鉄骨構造）住宅等の布基礎及びべた基礎において、シングル配筋された基礎梁部分に設けられる貫通孔における孔周囲に補強する開孔補強筋である。

## 2. 住宅基礎用ダイヤレンの形状と各寸法



住宅基礎用ダイヤレンの形状

各寸法

孔呼び径	タイプ	サイズ	A mm	B mm	C mm	D mm	E mm	F mm	重量 kgf/枚
80φ	D10	10	205	125	113	40	290	54	1.10
100φ	D10	10	205	125	113	40	290	45	1.09
125φ	D10	10	231	151	113	40	327	45	1.21

## 3. 適用範囲

### (1) 構造

- ・ 地上階数 : 3階以下、建築物の高さ : 13m 以下、軒の高さ : 9m 以下
- ・ 梁の種類 : シングル配筋の基礎梁
- ・ 基礎梁の幅 : 150mm 以上  
(平成 12 年建設省告示第 1347 号の仕様規定を満足する場合は 120mm 以上とする。)
- ・ 基礎梁のせい : 420mm 以上(べた基礎)、540mm 以上(布基礎)
- ・ コンクリート設計基準強度( $F_c$ ) : 18N/mm<sup>2</sup> 以上 30N/mm<sup>2</sup> 以下
- ・ 基礎梁の主筋 : D22 以下

### (2) 貫通孔

- ・ 貫通孔の径(H)は、基礎梁のせいの 1/4 以下かつ、呼び径 125φ 以下とする。
- ・ 連続する貫通孔の間隔は、両貫通孔の平均径の 3 倍以上とする。
- ・ 縦並びの貫通孔は、その貫通孔径の合計 (H1+H2) を基礎梁のせいの 1/4 以下とする。

(3) 配筋方法

- ・ 住宅基礎用ダイヤレンは、貫通孔の径により D10 タイプ 1 枚を配筋する。
- ・ 住宅基礎用ダイヤレンのかぶり厚は 40mm 以上確保する。
- ・ 補強有効範囲は、図 3.1 に示す通り C 区間とし、C 区間内のあばら筋比  $p_w$  は 0.2% 以上かつ、一般部あばら筋比以上とする。
- ・ あばら筋を切断した場合には、追加あばら筋として切断したあばら筋と同径・同鋼種以上の鉄筋を配筋する。
- ・ 本仕様書に記載のない事項については、諸基規準による。

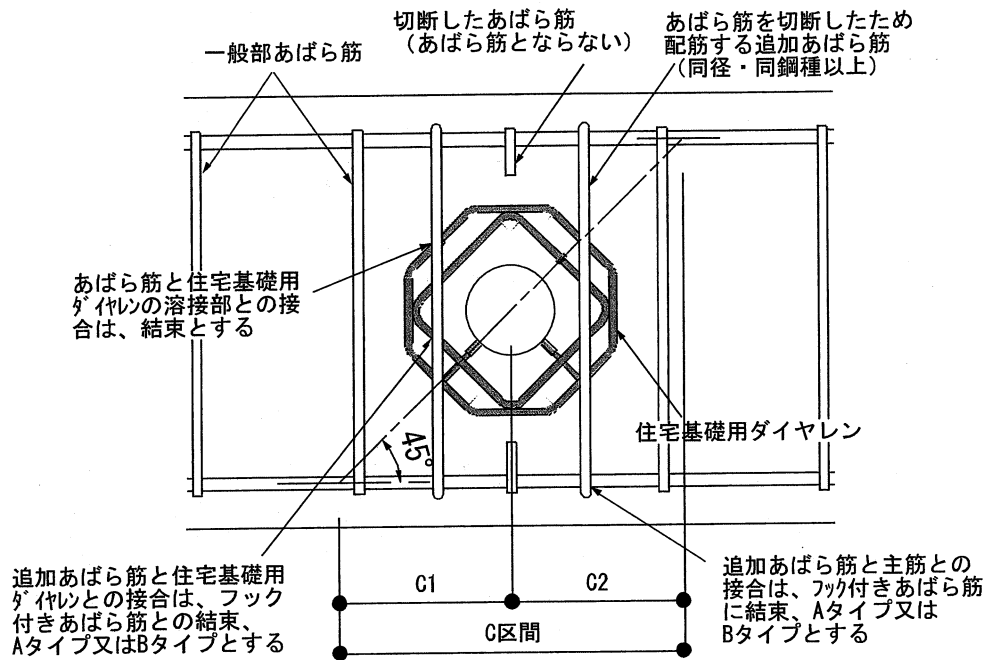


図 3.1 補強有効範囲

#### 4. 住宅基礎用ダイヤレンの配筋例

基礎梁貫通孔に配筋する住宅基礎用ダイヤレンの配筋例を図 4.1 に示す。

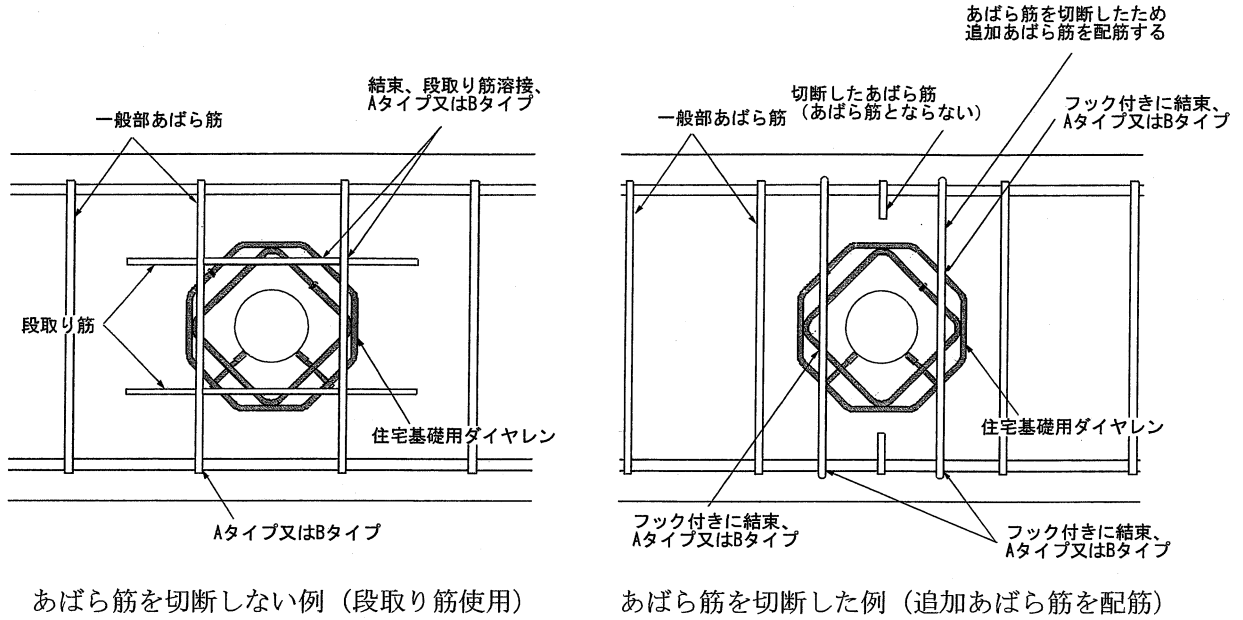


図 4.1 住宅基礎用ダイヤレンの配筋例

- ・ 直接あばら筋（フック付きあばら筋を含む）に、住宅基礎用ダイヤレンを結束若しくはスポット溶接する
- ・ 結束若しくはスポット溶接した段取り筋に、住宅基礎用ダイヤレンを結束若しくはスポット溶接する。
- ・ 住宅基礎用ダイヤレンとあばら筋の溶接には、段取り筋溶接は使用しない。
- ・ スポット溶接のAタイプ、Bタイプ、段取り筋溶接の日本建築センター評価区分を下に記す。

「日本建築センター評価区分」

- Aタイプ : 組立鉄筋Aタイプ
- Bタイプ : 組立鉄筋Bタイプ
- 段取り筋溶接 : 段取り筋溶接（仮組み溶接鉄筋工法）

